

事業概要表(草の根協力支援型)

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ニジェール共和国
2. 事業名	ニジェール国ニアメ首都圏における有機性ゴミによる緑化活動
3. 事業の背景と必要性	1) ニアメ市の人口は 2011 年に 130.3 万人と急増している。人口の急増に見合う都市インフラの整備は遅れており、市内の衛生環境は劣悪である。 2) ニアメ市郊外には農村が点在しているが、土壌養分に乏しく、砂漠化が進み、農村社会には貧困や飢餓が蔓延している。 3) ニジェールでは飢餓・貧困に苦しむ国民の割合が高く、土地への環境負荷が高まり、砂漠化が進んでいる。砂漠化が飢餓・貧困を引き起こすという負のスパイラルを断ち切る必要がある。
4. プロジェクト目標	ニジェール首都圏ニアメ市における有機性ゴミを活用した緑化モデルの構築
5. 対象地域	ニジェール市コミュンIVの3地区(タツラジェ、タツラジェ東、ガンカレ地区)
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	在ニジェール日本国大使館(在コートジボワール日本国大使館が管轄)
7. 本事業の対象となる人々	ニジェール市コミュンIVの3地区の住民(4.7万人)、都市衛生・生活改善局職員(ニアメ市コミュンIV担当:35人)、インフォーマルのゴミ回収人(84人)、農村の住人(42世帯 275人)
8. 事業活動	<p><活動> 提案者は過去20年にわたり都市ゴミによる緑化実験を繰り返し、砂漠化対策に関する研究活動と社会実装を進めてきた。この成果をもとに、ゴミの分別に取り組み、環境配慮と安全性を高め、有機性ゴミを使った農村の緑化モデルの構築をめざす。以下3件の事業活動を計画している。</p> <p>(1) 住民に対する家庭ゴミ分別の環境教育と分別回収の実施 提案者が都市衛生・生活改善局の主催イベントに協力し、コミュンIV3地区の住民に対し家庭ゴミ分別の環境教育を実施し、ゴミ分別に取り組み。局がコミュンIVで登録するゴミ回収人84人に対し、分別回収と投棄場所を指導し、市管理の一時集積場に有機性ゴミを集積する。</p> <p>(2) 緑化サイトの建設・モニタリング コミュンIVの郊外に位置するコンゴ・ラバ村において10サイトの提供を受け、50m四方の土地をフェンスで囲み、400kg/m²の有機性ゴミ(合計10,000トン)を投入し、土地所有者の管理により畑や牧草地を造成する。雨季には、緑化サイトの環境モニタリングを実施する。</p> <p>(3) 有機性ゴミによる緑化マニュアルの作成とゴミ処理フローに係る改善提案のとりまとめ 本提案者が都市衛生・生活改善局と連携し、有機性ゴミの活用による荒廃地の緑化に関するマニュアル作りを進め、都市衛生の改善と農村の砂漠化防止を実現するゴミのリサイクル・モデルを構築する。</p>
9. 実施期間	2021年9月～2024年9月(3年0ヵ月)
10. 事業費概算額	10,947千円
11. 事業の実施体制	都市衛生・生活改善局は国内のゴミ処理業務を管轄している。コミュンIV住民に対する局の清掃キャンペーンに提案者が協力し、ゴミ分別の環境教育を進め、有機性ゴミを活用した緑化モデルを構築する。また、京都大学の事務部を通じて経費の支払いをおこなうほか、京都大学ニジェール・フィールドステーションを活用し機材や道具を保管する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	京都大学アフリカ地域研究資料センター
2. 活動内容	本センターは設立当初から、文理融合の学際的な研究とフィールドワークを特色とするアフリカ研究を推進し、JICA 長期専門家派遣や SATREPS を通じ、環境問題や紛争の解決など実践的な研究に取り組んでいる。